



カケハシ・プロジェクト招へいプログラムの記録

対象：大学生招へい（カナダ）

1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「カケハシ・プロジェクト」として、カナダから大学生及び引率者 52 名が 2019 年 2 月 17 日～2 月 24 日の日程で来日し、日本の政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策などの対日理解促進を目的としたプログラムに参加しました。講義、視察、日本人との交流などを通じて幅広く日本を理解する機会を持ち、各々の関心事項や体験について SNS を通じて対外発信を行いました。また、帰国前の報告会では、訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）について発表しました。

【参加国・人数】

カナダ：52 名

（内訳）

グループ A（17 名）：University of Toronto

グループ B（18 名）：Simon Fraser University

グループ C（17 名）：Carleton University

【訪問地】

東京都、大阪府、滋賀県

2. 日程

- 2/17(日) 【来日】
- 2/18(月) 【オリエンテーション】
【日本理解講義】明治大学名誉教授 中邨 章 氏
【視察】国会議事堂 衆議院
東京都から大阪府へ移動
- 2/19(火) 【企業視察】パナソニック株式会社/パナソニックミュージアム（門真市）
【学校交流】大阪大学
【ホームステイ対面式】
- 2/20(水) 【ホームステイ】
- 2/21(木) 【ホームステイ歓送会】
【文化体験】甲賀流忍術屋敷（甲賀市）
【視察】彦根城（彦根市）
【ワークショップ（報告会準備）】

- 2/22(金) 滋賀県から東京都へ移動
 【表敬訪問】辻 清人外務大臣政務官
 【成果報告会】
 2/23(土) 【視察】浅草寺・江戸東京博物館
 2/24(日) 【離日】

3. プログラム記録写真



2/18【視察】国会議事堂 衆議院



2/19【企業視察】パナソニック株式会社



2/19【学校交流】大阪大学



2/21【文化体験】甲賀流忍術屋敷



2/22【表敬訪問】辻 清人外務大臣政務官



2/22【成果報告会】

4. 参加者の感想（抜粋）

◆カナダ，大学生（グループA）

大阪大学での学生との討論は日本のポップカルチャー，外交問題，地方文化などについて有意義な議論ができました。パナソニック訪問や国会議事堂見学も大変面白かったです。ホームステイは特に思い出に残りました。短い時間でしたが，家族と豆腐作りをしたり，近所を散歩したり，神社やひな祭り見学に出かけたり，普通の生活を通して人と人との交流ができました。

◆カナダ，大学生（グループA）

朝7時から夜11時までの働き方倫理は印象的で，大変驚かされますし，日本人従業員の規律正しさを尊敬します。もちろん生産性を最大限にするためには仕事と遊びのバランスも確保しなければなりません。憲法改正に対する大阪大学の学生の考えを聞き啓発されました。一人の学生が自衛隊を拡充したいと言いつつ自分は入隊したくないというのは皮肉ではありました。パナソニック訪問では創業者への崇拝を感じました。パナソニックミュージアムでは創業者をビジネスマンだけではなく，夫，作家，また思想家として扱っていました。ホストファミリーのもてなす姿勢はとても素敵で忍耐強く，6歳の男の子と仲良くなりました。このような大らかさは深く心に刻まれます。特に日本人の時間を守る姿勢は素晴らしいと感じました。

◆カナダ，大学生（グループB）

日本語を学習している学生にとって，ホームステイは素晴らしい経験でした。日本語漬けの環境で，ホストファミリーから色々な話を聞いたことは，私にとっては特別なことでした。ホストファミリーは日本語しか話さなかったので，来日前に日本語を勉強していたことで，ホストファミリーのコミュニティやライフスタイルについて，より深く記憶に残る会話をすることができました。また，ホームステイは初めてだったので，心を開いて，ホストファミリーが用意してくれた活動には何でも積極的に取り組みました。ホストファミリーがどれほど親切で，私たちを歓待してくれたかは，言葉で表すことができません。このような経験ができたので，私はこれから日本とカナダの懸け橋となって，日本の文化やその価値を広めたいと思います。

◆カナダ，大学生（グループB）

学校交流では，日本の大学生が英語を上手に話したので驚きました。日本人学生と交流する機会があり，嬉しかったです。国会議事堂を訪問して，国会が建設された経緯やその豪華な構造に目を見張りました。また，ホームステイでは日本のライフスタイルを初めて経験できて，このプログラムの中で一番好きなものになりました。ホストファミリーとの交流は，とても楽しかったです。有難うございました！

◆カナダ，大学生（グループC）

ホームステイプログラムでは他では得られない地方の日本の生活を体験することができました。地方の生活は日本の文化と社会において欠くことのできないとても重要なものです。また大阪大学の学生との歴史と文化についての討論では，私がこれからもこの分野の勉強をさらに続け，現在および今後の仕事に活かしていくことの大切さを教えてくれました。パナソニックの見学では北米と日本の企業文化に大きな違いがあること

がわかりました。とりわけ創業者である松下幸之助の哲学的なアプローチは意義深いものでした。歴史的な場所の見学は日本史を学んでいる学生として今回私が一番好きになったプログラムでした。普段は本で読んでいるだけの歴史に実際に自分の手を伸ばし触れることができたすばらしい機会でした。

◆カナダ，大学生（グループC）

日本理解講義では私がこれまであまりよく知らなかった日本のビジネスと技術の特質についてユニークな切り口から多くのことを学ぶことができました。

ホームステイと日野町での生活は私にとって最高に楽しい経験となりました。私はこれまで日本の生活についていくらか本で読んだり学習してきましたので、寺社に行く、祭りを見る、伝統的な家庭で生活する、といったことを実際に体験できてとても良かったです。

また同じ意味で国会議事堂見学では、カナダと日本の類似点、相違点をみることできて興味深かったです。さらに学校交流で日本の若者が色々な考え方についてどう思っているかを知ることができ、正に体験しながら学ぶことができました。

最後に、歴史を学ぶ学生にとっては、彦根城のような歴史的建造物の見学で、以前本で読んだことを実際に自分の目で見て体験できたことがとても感動的なことでした。

5. 受入れ側の感想

◆ 学校交流参加学生

カナダからの学生さんと共に日本とカナダの文化を比べることができ、とても貴重な体験でした。また、自国の文化について説明することや、カナダからの学生さんの意見を聞くことで、日本文化を客観的に捉える機会にもなったと考えます。これからも積極的にカナダやその他の国の文化、そして日本文化を学習していきたいと思えます。

◆ ホストファミリー

カナダの人々の生活状況、学校のシステム、様子が良く判りました。朝の部屋の掃除を丁寧に行っているところから真面目な国民性を窺い知ることができました。

6. 参加者の対外発信



The most loving, caring, and wholesome host family @Hino Town

Irish Marigmenさん、他2人

(グループA) ホームステイについての発信
(Facebook)

最高に優しく思いやり深い素敵なホストファミリー。日野町にて。

10:08

Tweet

ra @rosaberaah

Can proudly say I'm a professional tofu maker now 😂 #Kakehashi2018 #JICE



10:07 AM · 2019-02-23 · Twitter for iPhone

View Tweet activity

Add another Tweet

(グループB) ホームステイについての発信
(Twitter)

プロの豆腐職人になりました。

docomo 6:01 PM 5%

Jonathan Banks 36 Tweets

Tweets Tweets & replies Media Likes

Jonathan Banks @freddybeach... · 2d
On the bus ride to Hino. The Japanese countryside is absolutely beautiful. #kakehashi2018



Jonathan Banks @freddybeach... · 2d
Osaka, unlike Tokyo has trees fairly often and fun on the sidewalks. After the insane cleanliness of Tokyo, this is my new favourite Japanese city. #kakehashi2018

(グループC) プログラムについての発信
(Twitter)

日野町へ向かうバスの車中。日本の田舎は実に美しいです。

au 0:14 93%

instagram.com

Instagram ログイン | 登録

loopylex · フォローする Edo-Tokyo Museum



いいね! 9件

loopylex I couldn't be a 16th century Japanese peasant. #kakehashi2018

(グループC) 文化体験についての発信
(Instagram)

16世紀の日本のお百姓さんにはなれません。

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

	
<p>アクション・プランの発表（グループA） パネルディスカッションと懇親会： 帰国後3月に</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. パネルディスカッション：カケハシ・プロジェクト参加学生、大学、領事館から代表者3名で日本全般について過去、現在、未来に渡って討論する。トピックはジェンダー、移民問題、憲法第9条などを含む。 2. 懇親会：日本食レストランかバーで友達、地域の人々などに集ってもらい今回の経験を話す。 	<p>アクション・プランの発表（グループB）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回のプログラムのために作成されたホームページを活用して、日本での経験を伝える。 https://sites.google.com/view/kakehashi-project-at-sfu/trip?authuser=0 ・プログラムの日々の活動や、学生の視点に基づくプログラム中の実体験についてのブログを2019年3月9日までに公開する。 ・特定のテーマに焦点を当てた、プログラム中の実体験に基づく内容のビデオを2019年3月9日までに公開する。上映時間は2分間とする。 ・来日中の行ったファッションに関するインタビュービデオを、BLAZER FASHION Vancouver（企業）と協力して様々なSNSプラットフォームに投稿する。 ・2019年3月15-16日にカケハシ・プロジェクトで来校する大阪大学の学生と交流して、ブリティッシュコロンビア州を紹介する。 ・2019年3月14日に、サイモン・フレージャー大学訪日団と大阪大学訪加団は、カケハシ・プロジェクトの経験の共有と文化交流のために領事館を訪問する。

Proposed Post-Program Activities

- Personal Engagement
 - Organizing future trips to Japan, staying in touch with Kakehashi participants, Learning Japanese
- Social Media
 - Facebook, Instagram, Twitter, etc.
- Education
 - Lectures, Departmental Blogs, Expanding Japanese Studies
- Public Outreach
 - Student Events, University Mural, Carleton Japanese Festival, Word of Mouth



アクション・プランの発表（グループC）

個人レベルでできるとことは、今後また日本を訪問できるようにする、カケハシ・プロジェクトの参加者と連絡を取り続ける、日本語を習う、等が考えられる。また Facebook, Instagram, Twitter などの SNS を利用する。教育関係では講義、学科のブログ、日本研究の拡大等の場を活用する。さらに対象を広くすると学生のイベント、大学構内の壁を使った展示、カールトン大学日本祭り、ロコミ等が挙げられる。